

令和七年度試験問題

前期 日程

学校教育教員養成課程

伝統文化教育専攻

書道教育専修

科目等	小論文	ページ	1頁～2頁
-----	-----	-----	-------

注意

- 一. 問題冊子及び解答用紙は指示のあるまで開かないこと。
- 二. すべての解答用紙の※印のついた箇所受験番号を記入すること。(合計点欄に記入してはいけない。)
- 三. ページ数に間違いがないかよく調べること。
- 四. 下書用紙を利用することは差しかえないが、答えはすべて解答用紙に記入すること。
- 五. 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ること。

次の、高校生AとBの会話文を読んで、あとの問一～三にこたえなさい。

A 芸術の科目は何を選択している？

B 私は美術。Aさんは書道だったね。書道って、読めない字が多いから難しそう。それに、いつもお手本を真似して書いている印象が強いなあ。

A そうか。真似して書いているっていうのは、たぶん臨書のことだね。書道では、古典をもとにして、それを見ながら書いて学んでいくことが多いんだ。<sup>(1)</sup>同じ文字でも、いろんな書体や書風があって、臨書することはおもしろいよ。それに、今では使われなくなった文字が読めるようになると、内容にも興味や関心が湧いてきて楽しいよ。

B なるほど。書道は中国の文化と関係が深いよね。

A 中国の東晋時代の【①】は書聖と呼ばれるほどの人物で、日本の書道にも大きな影響を与えているんだ。真言宗を開いたことで知られている【②】は、実際に中国の文物を持ち帰ってきたし、書道では欠かせない人。【②】が友人の【③】に宛てて書いた手紙【④】は、名筆として今も伝えられてきているよ。

B 知ってる、知ってる。【②】と【③】は日本の平安時代に中国に留学していたよね。これは中国の【⑤】時代にあたるよだね。

A そう、その頃の日本の書には漢字で表されたものが多いんだけど、<sup>(2)</sup>一方で仮名も成立してきている。日本で生まれた仮名も、中国の漢字がもとになっているから、とても関係が深いよ。

問一 【①】 【②】 【③】 【④】 【⑤】に入る最も適当な語をすべて漢字で書きなさい。

問二 傍線部(1)に関して、具体的な内容や意味を説明しつつ、あなたの考えを四百字程度で述べなさい。

問三 傍線部(2)に関して、具体的な事例を挙げながら、あなたの考えを四百字程度で述べなさい。